

与那国島への自衛隊配備を許すな

与那国町長へ自衛隊誘致撤回を求めて下す!

政府・防衛省は、昨年12月に閣議決定した「新防衛計画大綱」に基づき、「中期防衛力整備計画」で与那国島に陸上自衛隊の沿岸監視部隊を配備しようとしています。

中国脅威論を口実に、沖縄を米軍と一体となり中国封じ込めの最前線にするための自衛隊基地強化の一環です。

与那国島への自衛隊配備に反対する「与那国改革会議」は、この間、自衛隊誘致の署名514名を上回る556名の署名を集め、町長と町議会に対して、「自衛隊誘致決議の撤回と自衛隊誘致活動の中止」を求めました。しかし、町長と町議会は町民の声を踏みにじり、要請を否決しました。

そして防衛省と与那国町は、町民の配備反対の声を踏みにじり、さる11月17日に、陸上自衛隊の配備計画についての住民説明会を強行しました。

説明会の強行に対して、与那国改革会議は、「賛成を上回る反対署名を提出している」「町民全体の議論がなされていない」「誘致については住民が議論したうえで、住民投票で決めるべき」「説明会は既成事実つくりになる」と抗議、退席し会場の外で抗議集会を行いました。

防衛省は、説明会で、候補地を示し、本年度中に用地を決定し、来年度末から造成工事を行うスケジュールを説明しました。まさに、2013年8月の与那国町長選挙の前までに基地を建設する方針です。

このような防衛省の自衛隊配備強行の動きに対し、11月19日、20日と与那国島で初めての自衛隊配備に反対する集会とデモ行進が行われました。この行動には、与那国改革会議をはじめ、沖縄島、石垣島、宮古島から、沖縄平和運動センター、八重山地区労、自治労八重山総支部の仲間も参加し、町民に自衛隊配備反対を訴えました。自衛隊配備に反対する闘いが町内外に大きくひろがりつつあります。

沖縄の新聞も、「自衛隊に町おこしの役割を期待するのは無理がある」「与那国島は国境の砦を固めるのではなく、自由に往来できる経済圏の確立だ」として台湾、中国との緊張を高める自衛隊の配備に反対しています。

防衛省、与那国町長は、説明会でもって自衛隊の配備が決定したとして反対している町民を切り崩そうとしています。しかし、説明会が強行されても町民の反対の声はいささかも揺らいでいません。

与那国改革会議は、防衛省が説明会を強行し、基地建設に向けて動き出したことを受けて、再度全国の仲間に対して、自衛隊配備反対の闘いへの支援を呼びかけています。

防衛省と一体となって自衛隊配備を強行せんとする町長に、引き続き「自衛隊誘致の撤回を求める」要請書を送付していただきますようお願いします。

＜与那国町長へ自衛隊誘致の撤回を求める要請書の送付＞

書式：独自に作成するか、または左半分の雛形を切り取って利用してください。

送り先：外間守吉 与那国町長

〒907-1801 沖縄県八重山郡与那国町字与那国129番地 与那国町役場

時期：1月まで。早めに送ってください。

通知：町長へ送ったことを把握するために、同じ要請文を一坪へ次の方法で送って下さい。

メール：hankach@jca.apc.org または FAX：047-364-9632

★ 与那国改革会議への支援活動カンパもお願いします

郵便振替 00150-8-120796 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック ※通信欄に「与那国支援カンパ」と書いて下さい。

沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック 電話090-3910-4140

＜与那国への自衛隊配備をめぐる動き＞

- 2007年6月24日 米海軍掃海艇が与那国町の祖納港へ入港
- 2008年9月5日 与那国防衛協会が町長と町議会に対し、町民514人分の署名とともに自衛隊誘致を要請
- 9月19日 町議会が賛成多数で自衛隊誘致決議を可決
- 2009年6月30日 外間町長らが浜田靖一防衛相に陸自配備を要請
- 7月8日 浜田防衛相が与那国町を視察訪問
- 8月2日 与那国町長選挙で外間町長が2期目当選
- 2010年3月26日 北沢俊美防衛相が与那国島を視察訪問
- 12月17日 与那国町からの部隊誘致の部隊誘致の要請を受け、政府は閣議決定した新防衛計画の大綱、5年間の中期防（11～15年度）で「南西諸島の島嶼部に陸上自衛隊の沿岸監視部隊を新設し、配備する」と明記
- 2011年5月12日 防衛省が与那国島に陸上自衛隊の沿岸監視部隊を配備する方針を示す
- 7月12日 与那国町と防衛省が、自衛隊配備についての初の住民説明会を開催
- 8月24日 北沢防衛相が与那国島への陸自沿岸監視部隊の配備時期について「ターゲットは2015年度末」との見解を示す
- 9月20日 与那国改革会議が町議会に自衛隊誘致に反対する町民556名の署名を提出し、「与那国町への『自衛隊誘致決議』の撤回と『誘致活動の中止』を求める決議」を要請
- 9月22日 与那国町議会が要請決議を否決
- 9月30日 防衛省が2012年度の概算要求で与那国島に陸上自衛隊の沿岸監視部隊と航空自衛隊の移動警戒隊を配備するための用地取得費15億円を計上
- 10月7日 改革会議が県知事と県議会に対して自衛隊配備計画中止にむけて支援するよう要請
- 10月12日 改革会議が政府、防衛省へ自衛隊配備計画の中止を要請
- 11月17日 与那国町と防衛省で説明会を開き候補地などを公表。住民反発し、退席
- 11月19日 改革会議らが与那国島で初めての誘致反対集会。翌日にはデモ行進
- 11月30日 集会主催団体で、集会決議文を沖縄県と沖縄防衛局に手交し要請

＜与那国の自衛隊誘致反対する議員や住民のブログの紹介＞

○チョッキンと与那国（田里千代基 町議会議員）

<http://t-chiyoki.no-blog.jp/blog/>

○「バンタ ドゥナンチマ カティンナヨ！」与那国島の明るい未来を願うイソバの会

+ 与那国島の自衛隊誘致に反対する住民の会

<http://isobanokai.ti-da.net/>

なお、沖縄・一坪反戦地主会関東ブロックのホームページでも、報道や取り組みを紹介しています。また、このチラシや要請書をダウンロードできます。

<http://www.jca.apc.org/HHK/>

与那国町長 外間守吉殿

与那国町への自衛隊誘致の撤回を求める要請書

貴殿の与那国町政における日頃のご活躍に敬意を表します。

与那国町への自衛隊の誘致については、誘致反対の署名が誘致賛成の署名を上回っていることと、新聞の世論調査でも町民の73.3%が反対していることにみられるように、町民の民意は明確に自衛隊の誘致に反対しています。

にもかかわらず貴殿は、さる11月17日に、防衛省と住民説明会を強行しました。町民の民意を踏みにじっての説明会の強行に強く抗議します。

貴殿は、地域活性化のために自衛隊の誘致を進めておられますが、自衛隊誘致により地域が活性化した例はありません。また、自衛隊は自立した補給体制を持っているので、配備に伴う経済効果は何にも期待することは出来ません。

自衛隊が配備されれば、台湾や中国との緊張が高まり、この間進めてきた台湾との経済交流、観光客の誘致などをとうした与那国独自の自立の道が台なしになります。さらに、自衛隊基地が出来れば、日米地位協定により米軍も駐留することになります。

国境の島の与那国に必要なのは軍隊ではなく、沖縄が中国、台湾と築いてきた友好関係の歴史を土台にした自由に往来できる経済交流の拠点です。まさに、住民参加で練り上げた「与那国自立ビジョン」の実現です。

このまま「誘致ありき」で強行すれば、地域、親、兄弟、親戚が分断される不幸な事態になり、島の将来に大きな禍根を残します。

私たちは、貴殿が自衛隊の誘致に反対する町民の民意をしっかりと受け止めて、自衛隊の誘致を撤回されんことを強く要請します。

そして2005年に町議会が採択した、台湾と国境を越えた交流促進などを行う「与那国自立・自治宣言」の立場に今一度しっかりと立ち、政府に対して国境離島振興策の充実を強く求めつつ、住民と共に与那国の持つ自然、歴史、文化などを踏まえた「島の自立」にむけて歩まれんことを要請します。

（一言メッセージ）

年 月 日

名 前

住 所